

# 日本小児放射線学会雑誌投稿規定

平成13年6月16日一部改定

平成19年6月16日一部改定

(改定した部分には下線)

- 1 投稿者及び共同執筆者は日本小児放射線学会会員とする。又、共著者が非学会員である場合、1人当たり5,000円を徴収する。
  - 2 投稿論文の採否は査読者の意見を参考にし、編集委員会で決定する。又、内容・発表形式の修正を求めることができる。
  - 3 原稿の内容は小児放射線医学並び、これに関連のある領域の基礎的、臨床的研究で他誌に未発表のもので次の形式とする(別表参照)。
    - (1) 総説：編集委員会からの依頼による、又、特別講演、シンポジウム、ワークショップなど、本学会の学術集会において発表されたもの。ただし、指定された期日までに到着しない場合は掲載されないことがある。
    - (2) 原著：独創性に富み、目的、結論等の明確な研究論文。
    - (3) 研究速報：独創的な研究、工夫、仮説などを内容とし早急に発表する価値のあるもの。研究速報を希望する理由を文書で説明すること。
    - (4) 症例報告：発生頻度のまれな症例で、今までに報告されていない画像所見を認めたもの。
    - (5) 画像報告 (Pictorial Essay)：発生頻度のまれな症例で画像上特徴ある所見を呈したもの。
  - 4 掲載された論文の著作権は、日本小児放射線学会に属し、その全部または一部を無断で他誌へ掲載してはならない。
  - 5 執筆上の注意
    - (1) 基本的には「Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals」(The New England Journal of Medicine 336 (4), 1997 ; 309～316.) に従うこと。
    - (2) 原稿は和文又は英文とする。和文・英文原稿ともコンピュータもしくはワープロを用いて印字する。一般演題抄録は規定用紙にコンピュータもしくはワープロを用いて印字する。
    - (3) 原稿の記述は表題(和文及び英文)、著者氏名(和文及びローマ字)、著者所属(和文及び英文)、キーワード(英語5語以内：Index Medicusに準ずる)、抄録(別表参照)、本文、引用文献の順とし、図、表および写真は別とする。図、表並びに写真の説明は、全て英語とする。
- (4) 本文は新かなづかいを使用する。引用文献は雑誌の場合、著者名、題名、雑誌名、西暦年号、巻、ページの順に、単行本では著者名、題名、書名、編集(監修)者名、発行地、発行所、西暦年号、ページの順とする。著者名は3名迄とし、以下は“他”又は“et al”と記載する。雑誌名の略名は和文献では医学中央雑誌、外国文献ではIndex Medicusに準ずる。文献の書き方は以下のような形式とする。
- [雑誌の場合]
- 例1) 村松秀樹, 藤野宣之, 梅原 実, 他: 湖水における頭部CTの検討.  
日小放誌 1991 ; 7 : 8 - 9.
- 例2) Jolley SG, Johnson DG, Roberts CC, et al : Pattern of gastroesophageal reflux in children following repair of esophageal atresia and distal tracheoesophageal fistula. J Pediatr Surg 1980 ; 15 : 857 - 862.
- \* 日本の雑誌と欧米の雑誌の引用文献の書き方を統一しました。
- [書籍、単行本の場合]
- 例1) 長島金二: 腸回転異常(不全)症. 新小児外科学(2版), 駿河敬次郎編. 東京, 医歯薬出版, 1982, p165 - 170.
- 例2) Girdany BR: Biliary tract. Caffey's pediatric X-ray diagnosis (8ed), Ed by Silverman FN. Chicago, Year Book pbl, 1985, p1380 - 1390.
- (5) 数量の単位は、なるべく国際単位系(SI)を使用すること。C/kg, Bq, Gy, Sv, kg, g, mg/dl, ml, cm, nm, h, min, s, C, kV, mA, mAs, Hzなど。
- (6) 図、表はそのまま製版できるようにトレーシングしたものとし、写真も原稿とは別に

A4紙に添付，その位置を明示し，挿入箇所を原稿の横欄外に付記する。図，表，写真は，いずれも1枚につき400字として計算する。ただし組写真は次の通り換算する。

- ・2枚組 1枚300字 計600字
- ・3枚組 1枚250字 計750字
- ・4枚組以上 1枚200字
- ・原則として組写真は6枚までとする。

図表は簡潔にする。写真は紙焼とし大きさは手札，又はキャビネ版とする。トリミングに留意する。

- (7) 原稿は完全なものとして送付すること。校正の際における加筆・修正は認めない。著者校正は1回限りを原則とする。
- (8) 原著，症例報告，画像報告，研究速報の原稿は査読のため，正1部のほか副2部を提出する。但し副については本文，文献，抄録，図，表は，コピーでよいが写真は正原稿と同じものとする。写真に矢印を入れる場合は，写真をコピーし，直接記入する。
- (9) 原稿には第1頁上部欄外に原著，症例報告，画像報告，総説（本学会の学術集会で発表された特別講演，シンポジウム，ワークショップ等の内容），研究速報の別および別刷の希望数を朱書きする。（別刷は50部単位で受け付ける。）

6 論文掲載料金及び別刷料金については別表の

通りとする。掲載料は日本小児放射線学会の会計に入れる。別刷料金は雑誌社に直接支払う。

- 7 英文抄録の修正は編集部より英語を母国語とする者に依頼する。英文原稿の修正は3万円（3,000円/1p）を限度として学会が負担するが，限度を超える場合は本人負担とする。
- 8 著者校正は初校のみとし責任を持ち至急行うこと。原稿になかった字句の挿入，図，表，写真の修正，削除などは原則として認めない。原稿は原則として返却しない。
- 9 投稿論文は，再投稿の際打ち出し原稿にディスク（MO，CD）を添付すること。又，使用機種名，ソフト名を付記すること。  
注）写真データについて：CDまたはMOに写真を入れる場合，TIFもしくはEPS形式で保存し，解像度は350dpi以上とする。なお，PowerPointデータではなく，作成した元のデータ（IllustratorやPhotoshopなど）とする。元データがない場合には必ず紙焼き写真を送付する。また，左右8cm以上でスキャンし，出力した写真もトリミングして同封する。
- 10 原稿は必ず書留郵便で下記に送付すること。封筒表に原稿在中と朱書きする。

〒355-0055 埼玉県東松山市松風台4-62  
 メディカル教育研究社内  
 日本小児放射線学会雑誌 編集部  
 (TEL 0493-35-3305 FAX 0493-35-4587)

別表（各項目すべて訂正）

項目	本文(*)および図，表，写真の字数制限	和文抄録	英文抄録	料金
原著	なし	400字以内 (本文が英文原稿の場合)	300語以内	和文原稿は10,000字，英文原稿はタイプ用紙ダブルスペース9枚。無料 これを超える場合及び図，表，写真(カラー写真希望の場合)は実費著者負担 別刷：実費
総説	和文原稿12,000字以内とし制限字数厳守	原著に同じ	原著に同じ	無料
症例報告	和文原稿8,000字以内とし制限字数厳守	不要	200語以内	無料 別刷：実費
画像報告 (Pictorial Essay)	和文原稿8,000字以内とし制限字数厳守	不要	200語以内	無料 別刷：実費
研究速報	和文原稿3,500字以内とし制限字数厳守	不要	200語以内	全額実費著者負担 別刷：実費

刷り上がり1頁は和文400字約4枚分，英文タイプ用紙ダブルスペース1枚半分となる。

\*なお，本文の制限字数の計算には表題・著者氏名，所属，キーワード，抄録，引用文献も含まれる。